



ガスミュージアム ～サマー・フェスティバル2008～



サマーフェスティバル2008

ガスミュージアムで今年で13回目（超？）を迎えるイベントです。7月25日～27日の3日間開催されて、昼間は親子・子ども向けの工作や絵付けなどのイベントを中心として、また夜は一変して、レンガ造りの建物がライトアップされ、幻想的な雰囲気の中コンサートが開かれました。日常生活に無くてはならないガスについて、その器具の開発の歴史や、ガスの安全を支える工夫について身近に触れられる楽しいイベントでした。
by.くるりん



ガス管再生ペレットでペンダント作り
廃棄することになったガスを細砕して、ペレットをつくります。それを利用してペンダント作り。カラフルな色がそろって作る前から子どもたちはわくわくです。

型と色を決めたら、型にペレットを敷き詰め、厚すぎず、薄すぎず慎重に・・・隙間が開いてもそれはご愛嬌(^_^)

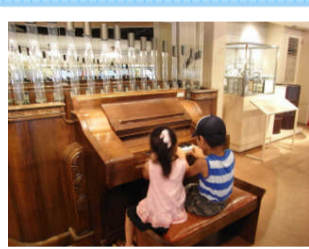
小学生になると、ピンセットを使って一粒ずつ並べて模様を作っていました。器用ですね～どんな模様を作るのかな？



並べ終わったら、アイロンでぎゅっと押さえて冷ましてできあがり！紐を通せば、ほら世界で一つのペンダントが出来上がり！これが、元は地中深く潜っていたガス管とは思えませんね。

化学実験
液体窒素を使って、空気を冷やすとどうなるか？
膨らんだ風船を冷やすと、しぼんだ風船の中になぜか液体が・・・
また、液体が気化する時の体積の膨張を使って、フィルムケースの蓋を勢いよく飛ばす体験もできました。

子どもたちはその変化と勢いを肌で感じて驚いていました。実験を体験したいお子さん達で大人気でした。



展示コーナー
レトロな感じが今見てもおしゃれです。ガス器具の発達、便利さの向上とともに安全性の向上にも繋がっているのですね。

ガスオルガン
鍵盤を押すと、その音程のガスの弁が閉じてガスの供給が止まり音が出る仕組み。調律が難しいらしく、音色は録音された音でしたが、パイプオルガンよりもっと柔らかい感じ。音楽にあわせて炎が揺らめく様は実に神秘的です。一度、実際の演奏を見てみたいです。

夜のコンサートに向けての準備風景。このコンサートを楽しみにしている方が大勢いらっしゃるようで、夕方には駐車場が満車になるようです。お昼過ぎから、念入りのマイクチェックが行われていました。残念ながら夜は行けなかったのですが、次回はぜひ一日楽しみたいと思います！



私たちの生活で、身近な存在のガス。ガスミュージアムに来ると、歴代のポスターに写っているスターたちの若かりし頃を見て楽しんだり、昔と今のガス器具の違いに驚いたり、親子で楽しくガスについて学ぶことができます。緑の多い敷地で、ゆったりとガスの歴史について知るのもいいかもしれませんね。